

## 編集後記

去る8月22日（火）に第5回科学の祭典・東海村子ども科学広場「おもしろ科学であそぼう」が開催され、当RISTもJSTと共同で「げんしろうクイズにチャレンジ」というコーナーを設けた。昨年を上回る約600名のチャレンジャー（小学生、付き添いのお母さん方、中には幼稚園児も）があり、盛会であった（本文 データベース部便り参照）。この際、付き添いのお母さん方に原子力百科事典ATOMICA（アトミカ）について解説し、またATOMICAへのアクセス方法等を説明したところ積極的な反応がみられ、世の中PRが大切と感じた。クイズは環境、エネルギー、放射線、原子力の4分野についてであったが、チャレンジャーの興味が旺盛で良く理解されている様子が覗えた。また、小学生がマウスを自由に操作する姿を見て、自分が小学生のころ熱中したマンガ「鉄腕アトム」などから得

た知識や、当時の社会環境と比べものにならない現代の情報化社会に隔世の感を持った。原子力施設などが置かれているところでは、このような催しが数多く開催され、周辺の小、中学生はより一層科学への関心、理解を深めることになり大変良いことである。原子力施設がないところでもこのような催しの開催される機会が多いことが望ましいと感じている。

さて、先日、強行された北朝鮮の核実験に起因して、核爆弾、地下核実験、ウラン、プルトニウム、フォールアウト、放射性物質、NPTなどの言葉が新聞、TV等で取り上げられている。この様な言葉の理解にATOMICAが役立っておりアクセス数が増えている。ATOMICAコンテンツ作成への支援を行っている当RISTとしては、更なる充実を図っていきたいと考えている。

（小沼、田苺子）